

2月定例会号

# わかやま 市議会 だより

目次

- ・特集 わかやま布引だいこん  
地域ブランドの確立へ…………… P2
- ・2月定例会の概要…………… P4
- ・令和3年度当初予算…………… P5
- ・代表質問…………… P6
- ・一般質問…………… P11
- ・委員会審査の概要…………… P12
- ・採決状況…………… P14
- ・議員連盟活動レポートなど…………… P16

No.101 令和3年(2021年)5月1日発行

匠たくみの  
大根



特集vol.14

わかやま布引だいこん

## 地域ブランドの確立へ

新しい年の和歌山市政は、2月定例市議会から始まります。市議会だより2月定例会号は、この様子を紹介しています。さて、2月といえば大根がおいしい季節です。生産地として知られる和歌山市名草地区。大根の魅力とブランド化への取組について、JAわかやま南ブロック大根生産販売協議会の南方一誠さんにお話を伺いました。

## おいしいを届ける

生産地は、さらさらとした砂質土壌に恵まれ、大根など野菜類の生育に適しています。約50戸の生産者によつて育てられたわかやま布引だいこんは、まっすぐで表面のきめが細かく、張り艶があり、みずみずしいのが特徴です。

種まきは、9月中旬から10月中旬までの約1か月間に行い、収穫は、種をまいた日から算出して決められた日に行います。このような適期収穫の徹底により、3月中旬の出荷最

終日まで、品質も良く、いつ食べてもおいしい大根が収穫できるようになっています。

このように地域の生産者が一体となり、徹底した管理を行うことで高い品質を保っています。また、年間約4500トン収穫された大根は、市場関係者の評価も高く、主に大阪や京都などの卸売市場へ出荷され、消費者のもとへ届けられています。



JAわかやま南ブロック大根生産販売協議会 南方一誠さん

秋冬大根、夏人参、新生姜、夏ホウレン草、春菊などを生産



## ブランド化への第一歩

この地域の大根は、江戸時代の記録にも記されるほど歴史があります。かつての白首大根から現在の青首大根の生産に切り替えたときは、思うようにいかず相当な苦労があったそうです。土壌に恵まれていても畑の耕し方一つで出来栄が変わると南方さんは言います。生産者の積み重ねた努力と、毎年12月に開催する目揃え会（品評会）による品質の統一によって、今では、関西圏のトップ



ブランドにまで押し上げてきました。「おいしい大根を作れることは、生産者にとって最高の幸せ」「この大根は、どこに出しても絶対負けない」と力強く話してくれました。

地域には、伝統的な生産方法や気候・風土・土壌などの特性が品質等の特性に結び付いている産品があります。農林水産省では、このような特徴を有する地域ブランド産品の名称を保護するため、地理的表示（GI）保護制度を設けています。わかやま布引だいこんも更なるブランド化に向けて登録申請を行っています。

## 次世代への継承

定番のおでんはもちろん、地域ならではの肉巻きやかき揚げなど、珍しい料理を紹介してくれました。そのおいしさは、一度食べてみるとよく分かります。

農業従事者の高齢化や後継者不足が全国的に課題となる中、この地域では若い世代の生産者がたくさんいます。家族が守り続けてきた畑、そして築き上げてきた大根の魅力に誇りを持ち、親から子供へと着実に次世代へ引き継がれています。

和歌山市には、地域の特性を生か



した魅力ある産品がたくさんあります。生産者の努力や取組によってブランド化することは、地域の活性化に加えて、和歌山市の発展につながります。私たち議員もその魅力を大いに発信したいと思います。

近年、あちこちで名前が聞かれるわかやま布引だいこん。この機会にぜひ市議会だよりでも取り上げて多くの方々の知るところになれば、全国に認められる和歌山産品の一つになるのかなど期待を込めて、生産農家、JAわかやまを取材しました。大きくおいしい大根の栽培に懸ける努力や手際よい出荷の工夫など、熱く語っていただきました。わかやま布引だいこんのブランド化に向けた意気込みを感じ取っていただければ幸いです。

特集担当:北野 均、藪 浩昭、坂口 多美子

## 編集後記



## 2月定例会の概要

### 開会

#### 2月22日

- ・会期の決定(2月22日～3月12日)
- ・議案説明(報告関係1件、承認関係1件、議案36件(補正予算案23件、条例案3件、繰越明許費に関する補正予算案5件、その他5件))
- ・議案に対する質疑(中村(朝)議員)
- ・議案の委員会付託
- ・追加議案の説明(人事案件1件)、採決

#### 2月24日～25日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について、審査、討論及び採決

#### 2月26日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・反対討論(坂口議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件1件)、採決
- ・議案説明(議案30件(当初予算案18件、条例案10件、その他2件))

### 代表質問

#### 3月1日

- 各会派の代表者による代表質問
- ・中谷謙二議員、中尾友紀議員、芝本和己議員、井本有一議員、山本忠相議員、浜田真輔議員、山野麻衣子議員(P6～P10に概要掲載)

### 一般質問等

#### 3月2日

- ・永野裕久議員、姫田高宏議員、松井紀博議員(P11に概要掲載)
- ・議案に対する質疑(南畑議員)
- ・議案の委員会付託

### 常任委員会

#### 3月3日～10日

- ・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

#### 3月11日

- ・各常任委員会で議案について、討論及び採決(P12～P13に概要掲載)

### 閉会

#### 3月12日

- ・各常任委員会の委員長報告、組替え動議
- ・討論(中谷議員、森下議員)、採決
- ・追加議案の説明(人事案件2件)、採決
- ・議員発議(会議規則の一部改正1件、意見書案1件)、採決

#### 令和2年度予算(2月補正後)

一般会計	1,995億804万2千円 (補正額12億9,217万2千円)
特別会計及び公営企業会計	1,399億7,578万5千円 (補正額9億1,151万2千円)
合計	3,394億8,382万7千円

#### 補正予算の概要

一般会計では、国補正を活用した新型コロナウイルス感染症の拡大防止、不妊治療対策拡充事業、事業再構築支援事業、小学校のトイレ改修や給食室の空調設備整備、市駅和佐線、今福神前線及び有本中島線の整備に要する経費、各事業における事業費の決定や精算等による予算などが計上されました。

特別会計(公営企業会計を含む)では、各会計で事業費の決定や精算等による予算などが計上されました。これらの補正予算案は慎重審査の結果、可決されました。

## 議員発議ってなに？

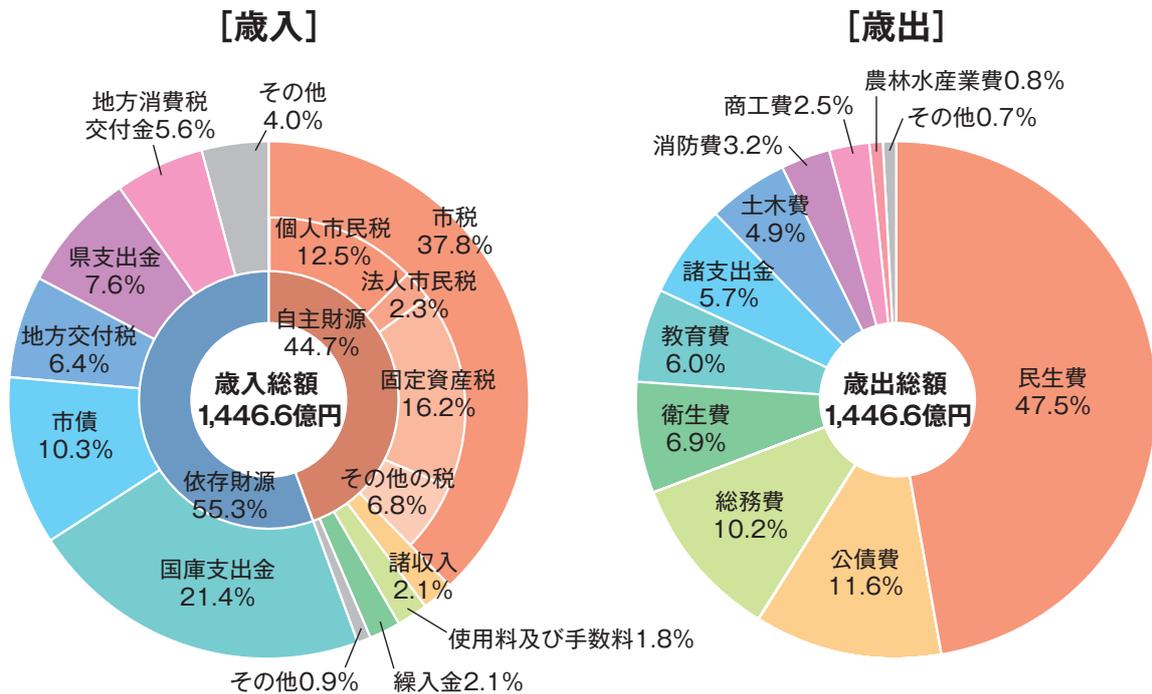
議案の多くは市長から議長に提出されますが、議員から提出することもあります。これを議員発議といいます。議員発議では、主に意見書、決議、条例案等が提案され、和歌山市議会では令和2年度実績で10件の発議を可決しています。

可決した意見書、決議、条例等は、市議会ホームページでご覧いただけます。



# 令和3年度当初予算

## 一般会計



### 特別会計

972.8億円

### 公営企業会計

391.6億円

### 予算合計

2,811億円

## 暮らしを守り、未来へ希望をつなぐ予算



### 1 安定した雇用を生み出す産業が元気なまち



- 1 新時代における産業の持続的発展
  - ・移住に重点を置いた企業誘致
  - ・地域産業の活性化
- 2 継続的な「和歌山ファン」の獲得
  - ・“オールシーズン分散型観光”の推進
  - ・主要観光地の魅力の向上・再発見 など

### 2 住みたいと選ばれる魅力があふれるまち



- 1 ライフスタイルにあわせた地方移住の提案
  - ・移住定住の促進
- 2 にぎわいと魅力あふれるまちづくり
  - ・ふたつの玄関口の活性化
- 3 未来へとつなぐ豊かな暮らしの形成
  - ・2021年、和歌山市は“文化の年” など

### 3 子供たちがいきいきと育つまち



- 1 子育て環境日本一に向けた取組
  - ・安心して子供を産み育てられる環境の整備
  - ・子供の健やかな成長に向けた環境づくり
- 2 新しい学習・教育
  - ・社会で輝く力を育む
  - ・ICT等を活用した教育環境の整備 など

### 4 誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち



- 1 誰もが元気に活躍できる社会
  - ・重層的支援体制の整備
- 2 便利で住みよい地域づくり
  - ・スマートシティの推進
- 3 災害に強いまち
  - ・安全・安心なまちづくり など

ピックアップ **代表質問**

各会派の代表者による質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継がご覧いただけます。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

自由民主党市議団



なかたに けんじ  
中谷 謙二

PCR検査

**問** 新型コロナウイルス感染症の陽性者数について、PCR検査のみで陽性者と判定していることが、不正確な数字であると指摘されている。これは、PCR検査がウイルスの中に存在している遺伝子の断片を確認す

**答** PCR検査は、国の「新型コロナウイルス感染症病



るものであり、ウイルスそのものの存在を検出するものではない。また、検査数値にも疑義が生じている。  
 新型コロナウイルス感染症の陽性者と判定されれば、症状がなくても無症状病原体保有者として、行動が制限されることになる。偽陰性も偽陽性も出さないよう慎重に判定を行わなければならぬと考えるが、PCR検査について、市長の見解はどうか。  
 また、PCR検査と併せて従来どおり医師が診断し、血液検査、胸部X線検査、胸部CT検査などを実施し、総合的に判定することが正しいと考えるがどうか。

原体検査の指針」で、信頼度が高いとされており、和歌山県の統一方針でもあることから行っている。  
 新型コロナウイルス感染症の検査については、検査方法や検体の種類、また、患者の状況などによって精度に違いがある。ウイルス量が少ない例では陰性となることや、同一患者であっても経時的に排出ウイルス量が変化するため、適切なタイミングでの採取や適切な検査方法の選択が求められる。今後も、患者の臨床症状や疫学状況に合わせ、総合的に精度の高い診断を実施していく。

情報発信の在り方

**問** コロナ禍において、市町の首長がSNS等を通じて市民へメッセージを発信している。リーダーの発信には人の心を動かし、行動を喚起し、考えを変容させる力がある。今、求められているのは希望であり、本市において最も希望を与えられるメッセージを発信できるのは市長である。リーダーが強いメッセージを伝えて、希望や安心感を与え、落ち着きを取り戻せるような発信が必要であると考え、コロナ禍における情報発信の在り方をどのように考えているか。  
 また、現在、不安を抱えて生活されている方や絶望的な状況でも何とか踏みとどまっている方、最前線で職責を全うしている方などがいる。この二年、様々な思いで過ごされて、この先もコロナ禍で生活されていく市民の皆様に対して、市長はどのような思いを持っているのか。  
**答** 情報発信の在り方については、これまでも毎月の定例記者会見において、数値に基づいた分析結果や政策等を伝え、その様子を広く市民の皆様にご覧いただけるようYouTubeで動画配信などを行ってきている。しかしながら、自治体リーダーからの発信は非常に大事だと考えているので、今後更に工夫して積極的な発信を心掛けていく。  
 また、最前線で従事されている医療関係者の皆様、介護施設などで緊張感を伴

**問** 都市のデジタルツインでは、センサー等から取得

データ駆動型社会



いながら従事されている皆様をはじめ、感染拡大防止にご協力いただいている市民の皆様感謝している。  
 自粛疲れや経済・労働環境の変化など、市民の皆様一人一人が置かれている状況は千差万別である。誰一人取り残さないためにも、多くの方の声に耳を傾け、迅速に対応していくとともに、新型コロナウイルスワクチン納入後、早期に接種できるように全力で取り組むことで、少しでも市民の皆様を不安を和らげ、共にこの難局を乗り越えていきたいと考える。

したデータを基に、建物や道路等のインフラ、経済活動、人の流れなど現実空間の都市の状況をサイバー空間上に再現している。都市の状況をサイバー空間上でリアルタイムに把握することが可能であり、データを利用して分析・シミュレーションを行い、その結果を現実空間にフィードバックすることによって様々なデータが活用される。都市開発、インフラ管理・運営、環境、エネルギー、交通などの分野において、少し先の未来を仮想的に予測することができるようになる。

便利で暮らしやすい未来に向けた環境整備のため、ICT等を活用し、スマートシティの実現に向けた取組を推進する本市において、デジタルツインを実装することは必要であると考えられるがどうか。

**答** デジタルツインの技術は、以前から製造業の分野で活用されており、昨今の先端技術の進化により、今はまちづくりの分野への活用が目まぐるしくしている。また、デジタルツインは、

スマートシティを支える技術の一つでもあることから、本市における導入の可能性や活用方法について、研究を進めていきたいと考える。



公明党議員団



なかお ともき  
中尾 友紀

新型コロナウイルス対策並びに社会・経済対策

**問** 感染対策の切り札となるワクチンの接種体制について、接種主体は市町村であり、希望者全員に接種するかつてない最大のプロジェクトである。しっかりと

と準備し、万全の接種体制を構築する必要がある。ワクチンの円滑な接種に向け、①接種の手順、②場所、③スケジュールや予防接種計画はどうか。④ワクチンの安全性・有効性について、正確な情報を提供する体制はどうか。

ワクチン接種 成人



**答** ①個別接種の手順は、本市が発送する接種券と本人確認書類を医療機関に提示し、予診票を記載の上、問診診療後に接種する。15分程度の経過観察後、接種ワクチンのロット番号を添付した接種券を受け取り1回目の接種が終了。21日の間隔を空け、2回目の接種を受ける。②高齢者が身近な医療機関で接種できるよう調整中である。③円滑な接

種に向け、各医療関係者と協議を行い、接種計画を策定中である。④国からの情報を踏まえ、市報わかやまやホームページ等で分かりやすい発信が重要である。接種に関しては、相談窓口を開設しているが、コールセンターも開設予定である。

**問** LINEは、ワクチン接種予約システムを開発し、100を超える自治体が利用することを表明している。本市でも集団接種にLINE予約が有効だと考えるが、ワクチン接種の予約についてどう考えているか。

**答** 集団接種の予約については、LINE予約の実施に向けて取り組んでいく。

**問** 新型コロナウイルス感染症は、自覚症状がないまま病状が悪化し、自宅で亡くなる人が増えている。そこで注目されているのが、クリップ状の装置を指先に挟むだけで血液中の酸素濃度を計測できるパルスオキシメーターである。重症化の指標が判断できるため、配備が必須であると考えられるがどうか。

**答** パルスオキシメーターに

については、現在、入院までに時間を要する方に貸し出し、保健所と連絡がとれる体制を構築している。



**問** 本市においても多くのクラスターが発生しており、重症化する可能性が高い高齢者施設等での定期的なPCR検査を実施すべきと考えられるがどうか。

**答** 施設等での感染予防策を有効的な対策と考え、高齢者施設におけるPCR検査等を含めた定期的な検査に前向きに取り組んでいく。

**問** 緊急事態宣言の再発出に伴い、ひとり親家庭などの困窮者対策やコロナで離職、失業した人への再就職などが喫緊の課題であると考えられるが、①本市独自

の困窮者対策の現状はどうか。②第二の就職氷河期を生まない就労支援、中小零細企業に対して助成をすべきと考えるがどうか。③民間への支援のみならず、市役所での雇用拡大を考えてはどうか。

**答** ①生活困窮者を支援するため、市独自でひとり親家庭等応援事業として、児童扶養手当受給者を対象に、1世帯につき2万円を支給。また、新型コロナウイルス感染症に係る生活支援相談窓口を設置し、市社会福祉協議会の貸付制度、生活保護申請などへつなぐ支援を実施。さらに、住居確保給付金事業についても、支給期間を延長している。

②就職活動が円滑に行えるよう企業と学生とのマッチングの機会を積極的に提供している。市独自の中小零細企業に対する支援として、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策促進奨励金や事業者家賃支援金などを実施しており、今議会においても事業再構築支援補助金を議決いただいた。

③正規職員の採用を一部

前倒しで行いたいと考えている。

**行政のデジタル化**

**問** 行政のデジタル化を推進するためにマイナンバーカードの普及が最重要課題である。市民の利便性の向上を図るため、更なるオンライン手続に向けてどのような施策を考えているか。



**答** マイナンバーカードを利用したオンライン手続としては、児童手当の新規認定請求及び現況届といった子育てワンストップサービスや、介護保険被保険者証の再交付申請などの介護ワンストップサービス等、8種類の申請でオンライン化を実現している。他の手続についても、オンライン化に

向けて検討の上、取り組んでいく。

**問** 埼玉県戸田市は1月からスマートフォンを活用し、来庁しなくても住民票や税証明書などの申請手続ができるサービスを開始した。スマートフォンがあれば、全ての行政手続が完了できるシステムを構築すべきと考えるがどうか。

**答** これまで来庁しなければできなかった行政手続をスマートフォンだけで簡単にできるように、最も有効なシステムの構築に向けて取り組んでいく。

**政和クラブ**



しばもと かずき 和己 芝本

**動物愛護管理センターの運営**

**問** 昨年、全国的に大きな関心を呼んだ和歌山市の動物愛護行政。第三者の意見、力を借りての再スタートが必要と考え提案し、立

ち上がった協議会だが開催頻度が低い。昨年の反響を逆手に今、関係者とともに一気に問題課題を洗い出し、動物愛護、ガバメントクラウドファンディングの先進市に生まれ変わるべきである。市民と一緒に和歌山市の動物愛護、協議会の在り方について市長の考えはどうか。



和歌山市動物愛護管理センター

**答** 市民と一緒に和歌山市の動物愛護は、動物の愛護と管理に関する施策への市民一人一人の理解と協力が必要であると考えている。協議会は動物愛護行政への意見をより的確に反映できるものとし、市長である私自身も出席する。また、開催する頻度を高め、協議会の協力のもと、先進都市に生

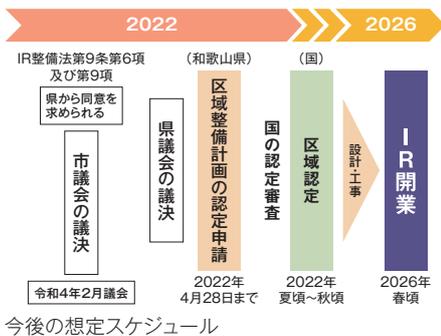
まれ変われるよう取り組んでいく。

**IR(統合型リゾート)**

**問** IRについては正しい情報の収集、発信、共有が大切である。カジノに対しての賛成、反対だけにならないようIR全体のメリット・デメリットについて、きちんと向き合い、対応をお願いしたい。また、IR誘致が決定した場合、中心市街地や市内各地の観光資源への誘導をどうするのか。誘致を経済効果につなげることが大きな使命となるが、人手や人がIRに流れてしまいう逆の問題も生じかねない。経済効果や人の流れは市内各地に波及させることが重要と考えるがどうか。

**答** 県と連携した住民説明会やホームページで情報発信を行い、市民に理解いただけるよう努めていく。また、経済効果や人の流れを市内全域へ波及させることは非常に重要だと考えている。その点について、県は来訪者をIR区域外に誘導するための仕組みを構築することを事業者に条件付け、市が

らは県に本市全体の経済発展と地方創生に寄与することとなるよう配慮を求めている。今後も県と連携を密にしながら、本市にとって最大の効果が発現されるよう取り組んでいく。



日本共産党議員団



高齢者施設へのPCR検査

**問** コロナ対策をワクチン頼みにせず、医療機関や介護施設でのPCR検査を計画的に行う必要がある。厚労省事務連絡「高齢者施設

等への重点的な検査の徹底について」をどう受け止め、運用していくのか。

**答** 従来から陽性者が出た場合は、PCR検査を積極的に行ってきた。また、高齢者施設が自主的に実施した検査費用は、国の緊急包括支援事業の補助対象となるため、全施設に対して周知を図っている。



コロナ禍での飲食業者対策

**問** 飲食業は利用客が減少し、廃業とまでは行かなくても緊急事態宣言が出ている都市と同様の自粛状態にある。施政方針で打ち出した支援策は、今あるお店を何とか維持したいという業者には届かない。飲食業に対する支援はできないか。

**答** 飲食業を中心に大きな影響が出ていることは認識している。引き続き支援策を講じていく必要があると考えている。



生活保護申請時の扶養照会

**問** コロナ禍の下、生活保護制度の重要度が増しているが、申請時に親族へ扶養照会の書類が届くため、申請をためらう大きな要因となっている。厚生労働大臣は「扶養照会は義務ではない」と答えている。大きな壁となっている扶養照会はやめるべきではないか。

**答** 扶養の可能性が期待できない扶養義務者には照会していない。国において、実施要領の取扱いが一部改正されたことを踏まえ、実態

に沿った形で運用する。

IR(カジノ)の誘致

**問** IR事業者は、年間来場者1300万人以上と説明している。これは、大阪のUSJ並みであり過大である。これまでも過大な見通しで事業を進め、事業者が撤退して大きなツケを背負ってきた経緯がある。市長は、この見通しについて、どう考えているのか。

**答** 年間来訪者数は事業者選定後、県が事業者と作成する区域整備計画に記載される。1300万人以上という見通しは、現時点で確定したものではない。

民主クラブ



介護従事者への支援

**問** 感染防止のため、介護従事者は非常に強いプレッシャーを受けており、高齢社会を支えるという重責も

担っているにもかかわらず、それに見合う処遇を得られていない状況である。独自の支援策を実施している自治体もあり、医療・介護・障害者福祉の従事者への思いも含め、介護を支えてくださる方々に報いるため、独自の慰労金支給などを実施できないか。

**答** 個人向け支援は、国が実施した新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業により、介護保険事業所の従業員に対し、慰労金が支給されている。利用者及び職員に感染者等が確認された事業者には、本市が行っているサービス継続支援事業により、割増し経費の補助を行っており、感染者等のケアに当たった職員に割増し手当を支給する事業者が増加していることから、本事業の活用を促進を図りたい。

「子育て環境日本一」の実現を

**問** 平成27年以降減少し続けている出生数、NPOが実施した子育て環境のランキングでも上位自治体から



**問** コロナ禍における出来事に対し、時には議論が制御不可能になり行政施策に悪影響を及ぼすことも考えられる。そんな場合においても科学的・論理的な判断に基づき、冷静かつぎせんに

**コロナワクチン接種**



まつい のりひろ  
松井 紀博

**政和クラブ**

**ピックアップ PickUp!**

**一般質問**

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へ届けようとする内容をピックアップした上で掲載しています。



録画中継がご覧いただけます。

※各党派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

**問** コロナ禍における出来事に対し、時には議論が制御不可能になり行政施策に悪影響を及ぼすことも考えられる。そんな場合においても科学的・論理的な判断に基づき、冷静かつぎせんに

**医療体制の重要性**

**問** 本市のコロナ対策の安定的対応は、公立公的病院の充実からなるゆとりある病床数の確保によるものである。危機管理の観点から、病床数を維持するため、コロナ禍の前に策定された地域医療構想について再度議論を行い、病院病床数の削減を一旦凍結すべく働きかけるべきと考えるがどうか。

**答** コロナ禍を踏まえ、市民の安心安全を守るため地域の医療構想を見直し、療養に必要な病床の確保を県及び国に強く働きかけていく。

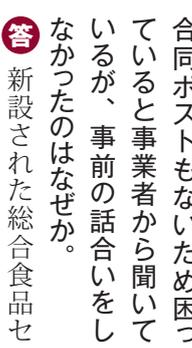
とした態度で事業の必要性を発信し続けるべきであるが、この一大プロジェクト・オペレーションを開始するに当たり、その決意と臨むに際しての思いはどうか。

**答** 接種後の副反応や予期せぬ出来事が起こる可能性はあるが、この事業に懸ける思いは変わらず、正確な情報をいち早く市民に発信することで不安や戸惑いを払拭し、希望する市民全員に実施できるまで事業を突き進めていく覚悟である。

とした態度で事業の必要性を発信し続けるべきであるが、この一大プロジェクト・オペレーションを開始するに当たり、その決意と臨むに際しての思いはどうか。

**問** 総合食品センター棟の使用料の設定について、事務所、加工場、倉庫として使用しているにもかかわらず店舗料金となっていることや共用通路に面したシャッターの鍵が全店同一になっている。さらに、郵便受けが個々の店舗等やシャッターについておらず、合同ポストもないため困っているが、事前の話し合いをしながらの対応はなぜか。

**中央卸売市場**



ひめだ たかひろ  
姫田 高宏

**日本共産党議員団**

**スポーツ施設**

**問** 河川敷にある本市のグラウンドを特定のクラブやチームに専用使用させていることについて、市長はどう考えているのか。

置けると伝えていく。

**問** 新型コロナウイルス感染症は、市中感染により誰もが罹患する可能性がある。感染者や命懸けで職務を遂行している医療従事者等に対する差別や偏見、ひぼう中傷やいじめ等は絶対に

**民主クラブ**



ながの ひろひさ  
永野 裕久

**自殺防止対策**

**問** 平成30年度に「和歌山市のち支える自殺対策計画」を策定しているが、コロナ禍における自殺防止対策について、新たな発想と取組が必要不可欠だと思つが、本市の見解はどうか。

**答** コロナ禍の状況や予想される情勢を踏まえ、各種施策を生きる支援として展開し、全庁的に取り組んでいきたいと考える。

あつてはならず、看過できない人権問題であると考え、市長の見解はどうか。

**声の市議会 だより**  
(市議会だよりの音声版)を作成しています。  
ご希望の方は、  
議会事務局 議事調査課  
☎435-1120 まで

**答** どのような場合であつても差別、偏見、ひぼう中傷などはない。正しい知識と理解を持ち、一人一人の人権が確実に守られる社会の実現に向けて引き続き取り組んでいく。

**答** どのような場合であつても差別、偏見、ひぼう中傷などはない。正しい知識と理解を持ち、一人一人の人権が確実に守られる社会の実現に向けて引き続き取り組んでいく。

あつてはならず、看過できない人権問題であると考え、市長の見解はどうか。

# 委員会審査の概要

## 総務委員会

当委員会に付託された議案11件について、慎重審査の結果、承認及び可決すべきものと議決されました。なお、令和3年度の主要事業については、次のとおりです。

**海をテーマとしたSDGsイベント開催200万円について。**これは、環境保全促進助成事業を活用し、「海の豊かさ」の大切さを体験できるイベントを開催し、持続可能な海社会を実現する機運を醸成するものです。

**LINEを利用した情報発信の拡充108万9千円について。**これは、「和歌山市LINE公式アカウント」に外部ツールを連携し、機能を拡充することで、インターネットを活用した情報発信を強化することにも、利用者ごとに最適化することで、より市民生活に便利な情報発信等を行うものです。



和歌山市LINE公式アカウントの画面

**防犯カメラ設置補助200万円について。**これは、自治会が設置する防犯カメラの設置費用を補助することで犯罪防止を図るものです。

**防犯灯新設補助135万円について。**これは、自治会が新設する防犯灯の費用を補助することで、夜間における犯罪を防止し、公衆の安全を図るものです。

**防犯灯のLED化補助1875万円について。**これは、自治会の防犯灯修繕費を補助し、令和5年度までに既設防犯灯のLED化100%を目指すものです。

**防災行政無線の再整備6298万6千円について。**これは、平成28年度策定の基本設計に基づき、アナログ局のデジタル化に併せ、再整備（5か年計画）を実施し、市内全域の可聴範囲を100%とするものです。

**災害時用備蓄品の整備92万円について。**これは、大規模災害時の物資確保の困難性を勘案し、食料や飲料水等の備蓄を推進するものです。

なお、審査過程において、令和3年度組織改正、宝塚医療大学和歌山保健医療学部看護学科設置、市税納付のキャッシュレス決済について、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

## 厚生委員会

当委員会に付託された議案21件について、慎重審査の結果、承認及び可決すべきものと議決されました。なお、令和3年度の主要事業については、次のとおりです。

**新型コロナウイルス感染症への感染対策6307万7千円について。**これは、新型コロナウイルス感染症への備えとして、入院費やPCR検査費用の助成、接触者健診の委託等による医療機関との連携など、様々な感染対策に取り組むものです。

**新型コロナワクチン接種に向けた体制の確保14億6065万7千円について。**これは、新型コロナウイルス感染症の発生状況に対応するため、ワクチン接種体制の確保・整備等を行い、円滑に予防接種が実施できるよう医療機関や関係団体等との連携・協力を図るものです。



**支援対象児童等の見守り強化740万円について。**これは、コロナ禍において、子供の見守り機会が減少し、児童虐待リスクが高まっていることから、子供食堂などの民間団体と連携して支援ニーズの高い子供等を定期的に見守る体制を確保し、児童虐待の早期発見・早期対応につなげるものです。

**元氣70パスの充実に向けた実践実験482万8千円について。**これは、高齢者の外出支援事業の充実に目指し、元氣70パス事業に新たに貴志川線を追加することによる事業効果を検証するため、一定期間の実験を行うものです。

**多機関協働による地域福祉の推進4332万6千円について。**これは、地域住民の介護・障害・子供・困窮といった複雑・複合化した支援ニーズに対応する断らない包括的な支援体制を整備し、住民・行政・支援機関等の相互協力による相談支援・参加支援・地域づくり支援を一体的に実施するものです。

なお、審査過程において、公金納付のキャッシュレス決済、和歌山市におけるコロナワクチン接種体制の概要、太陽光発電事業の進捗などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。



## 委員会の模様をインターネットで配信しています！

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

## 経済文教委員会

当委員会に付託された議案18件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、令和3年度の主要事業については、次のとおりです。

**サテライトオフィス等の施設整備補助**9200万円について。これは、空き店舗等を活用し、サテライトオフィス等として提供する施設を整備する事業者に対して、整備に係る費用の一部を補助金として交付し、また、整備したサテライトオフィスに進出する市外企業に対して、支援金を交付するものです。

**日本遺産「葛城修験」の活用**123万1千円について。これは、日本遺産に認定された「葛城修験―里人とともに守り伝える修験道はじまりの地―」において、修験道や構成文化財を紹介・解説するため、冊子や看板を作成するものです。

**紀の国わかやま文化祭2021の開催**3637万3千円について。これは、本年秋に開催される紀の国わかやま文化祭2021において、様々な文化イベントを開催することで、本市の文化芸術の魅力を国内外へと発信し、魅力あるまちづくりにつなげます。また、

本文化祭への参加・体験を通じて、市民の文化芸術活動への参加意欲の向上を図るものです。



**有吉佐和子邸の復元工事**1億2114万5千円について。これは、有吉佐和子氏の邸宅を復元し、文学発信の拠点として整備することにより、市民が文化芸術に触れる機会を創出し、市民の郷土への愛着を高めるものです。

**中学校全員給食に向けた準備**987万8千円について。これは、現在、選択制デリバリー給食を実施している中学校において、学校教育の一環として、健康の保持増進や学校給食を活用した食育の推進等の充実を図るため、本市の給食に係る様々な課題を調査するとともに、最適な学校給食実施方式を調査し、全員給食の実施に向け、今後の給食の在り方について検討を行うものです。

## 建設企業委員会

当委員会に付託された議案31件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、令和3年度の主要事業については、次のとおりです。

**加太の夜間景観創出**325万6千円について。これは、加太地域の魅力向上・雰囲気醸成を図り、統一感のあるまちなみを演出するため、民家の玄関先にちようちん等の設置及び文化的な伝統建築物等のライトアップを行うものです。



玄関先へのちようちん等設置イメージ

**現市民会館跡地等、JR和歌山駅東口の民間活用**200万円について。これは、現市民会館跡地等、JR和歌山駅東口の更なるにぎわいの創出に向けて、民間活力を生かした土地活用を検討するものです。

次世代につながる公共交通システムの導入検討について。これは、IR誘致実現を見据え、大幅に増加する観光客の輸送や生活・交通の利便性向上、さらに採算性を向上させるため、基幹公共交通軸としてBRT等の導入を検討するものです。

**生活道路・通学路の整備**1810万円について。これは、生活道路や通学路における道路交通環境向上のため、継続整備路線に加え、和歌山大学前線はじめ新規3路線の整備を行うものです。

**配水管の整備**23億1412万4千円について。これは、老朽化した配水管の更新、耐震化、各水系間の相互連絡等の配水管を布設するものです。

**和歌山市消防活動センターの運用開始**3110万4千円について。これは、他府県からアクセスが容易な和歌山南スマートICに近い場所に広域活動拠点を整備することで、緊急消防援助隊の活動がより効率的になるものです。

なお、審査過程において、和歌山市営北駐車場内店舗出店者の選定結果、都市再生整備計画（和歌山市中心拠点再生地区）第8回変更などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。





# 市議会だよりの設置にご協力いただける事業者を募集しています!!

わかやま市議会だよりは、定例会ごとに年4回発行し、各家庭へ配布しているほか、市の施設などにも設置しています。

今後も、より多くの皆様に手に取って読んでいただくため、事業所や店舗等に設置していただける事業者を募集しています。

設置に当たっては、申込書の提出が必要となります。詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。



設置申込書・募集要綱がご覧いただけます。

## 議員連盟

### 活動レポート

Vol.19

全国大会誘致和歌山市議会議員連盟では、スポーツ及び文化の振興を図るとともに経済の活性化に寄与するため、本市で各種大会や会議、イベントなどが開催されるよう誘致活動を行っています。本年10月には、新たな文化交流拠点として和歌山城ホールが完成し、第36回国民文化祭・わかやま2021、第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会が開催されます。これを機に、各種団体が更に本市を訪れていただけるよう活動しています。



和歌山城ホール

## 議員連盟

### 活動レポート

Vol.20

スポーツ振興和歌山市議会議員連盟が企画し、筋肉体操でおなじみの近畿大学生物理工学部 谷本道哉准教授の出演・監修で「自宅でできる簡単エクササイズ動画」を制作しました。

自宅で気軽に運動不足を解消でき、子供からお年寄りまで幅広い年齢層の方に取り組んでいただけるように1種類3分程度、計4種類の内容になっています。

無理のない範囲でぜひ、実践してみてください。



エクササイズ動画がご覧いただけます。



企画・制作  
スポーツ振興和歌山市議会議員連盟



次の定例会は、**6月です!**

新型コロナウイルス感染症拡大防止及び感染リスク軽減のため、本会議及び委員会の傍聴は、できる限り同時配信しているインターネット中継をご覧ください。どうぞご協力をお願いします。



生中継・録画中継がご覧いただけます。

## 広報委員会からのお知らせ

市議会だより創刊100号記念! 和歌山市議会クイズに多くのご応募をいただき、ありがとうございます。クイズの答えは「IR誘致」です。厳正なる抽選の結果、当選された100名の皆様、誠におめでとうございます。また、多くの皆様からいただいた市議会へのご意見は、今後の議会活動の参考とさせていただきます。

### 和歌山市議会広報委員会

**【委員長】**西風 章世 **【副委員長】**丹羽 直子  
**【委員】**中村 朝人 赤松 良寛 山中 敏生  
 川端 康史 山野 麻衣子 坂口 多美子  
 藪 浩昭 古川 祐典 北野 均  
 佐伯 誠章

※令和3年3月31日現在

〒640-8511  
 和歌山市七番丁23番地  
 和歌山市議会広報委員会 宛  
 TEL: 432-0022(議会事務局)  
 FAX: 424-9276  
 Mail: gikaidayori@city.wakayama.lg.jp



和歌山市議会ホームページ    
<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、  
 植物油インキを使用しています。

